



講演
孫崎 享氏

東アジア共同体研究所所長
元外務省国際情報局局长

孫崎 享 まごさき・うける

経歴：1943年生まれ。

1966年 東京大学法学部中退、外務省入省

1981年 外務省大臣官房総務課企画官に就任

1983年 外務省情報調査局分析課課長に就任

1986年 在イラク大使館の参事官に就任

1989年 在カナダ大使館の公使に就任

その後もウズベキスタン駐劔特命全権大使、イラン駐劔特命全権大使など要職を歴任。また、日本におけるインテリジェンスのエキスパートとして外務省国際情報局局长も務める。

「戦後史の正体」「21世紀の戦争と平和」「これから世界はどうなるか」等、著作も多数有。

演
題

最近の国際情勢からみた 憲法改正問題

今年4月27日、朝鮮民主主義人民共和国の首脳が初めて韓国の地に足を踏み入れ南北首脳会談が実現し、同年6月12日には、初の米朝首脳会談が実現する等、対話によって国際問題を解決する気運が高まりつつあり、国際情勢は今、大きく変化しつつあります。このような変化の中、十分な議論を経ずに憲法改正を急がなければいけない理由があるのでしょうか。また、日本国憲法を改正することは国際的にみてどのような評価を受け、それが外交上どのような影響を及ぼすのかについては、今まで十分議論されてきたとはいえません。

そこで、広く国際上の観点から憲法改正問題について考えるために、元外交官で、現在の国際情勢にも精通された、孫崎享さんに、国際的視野で日本国憲法の改正問題についてお話いただきます。

2018
8/25 sat
土

午後2時～4時(午後1時30分開場)
仙台弁護士会館 4階大ホール
(仙台市青葉区一番町2丁目9-18)

入場無料・予約不要

